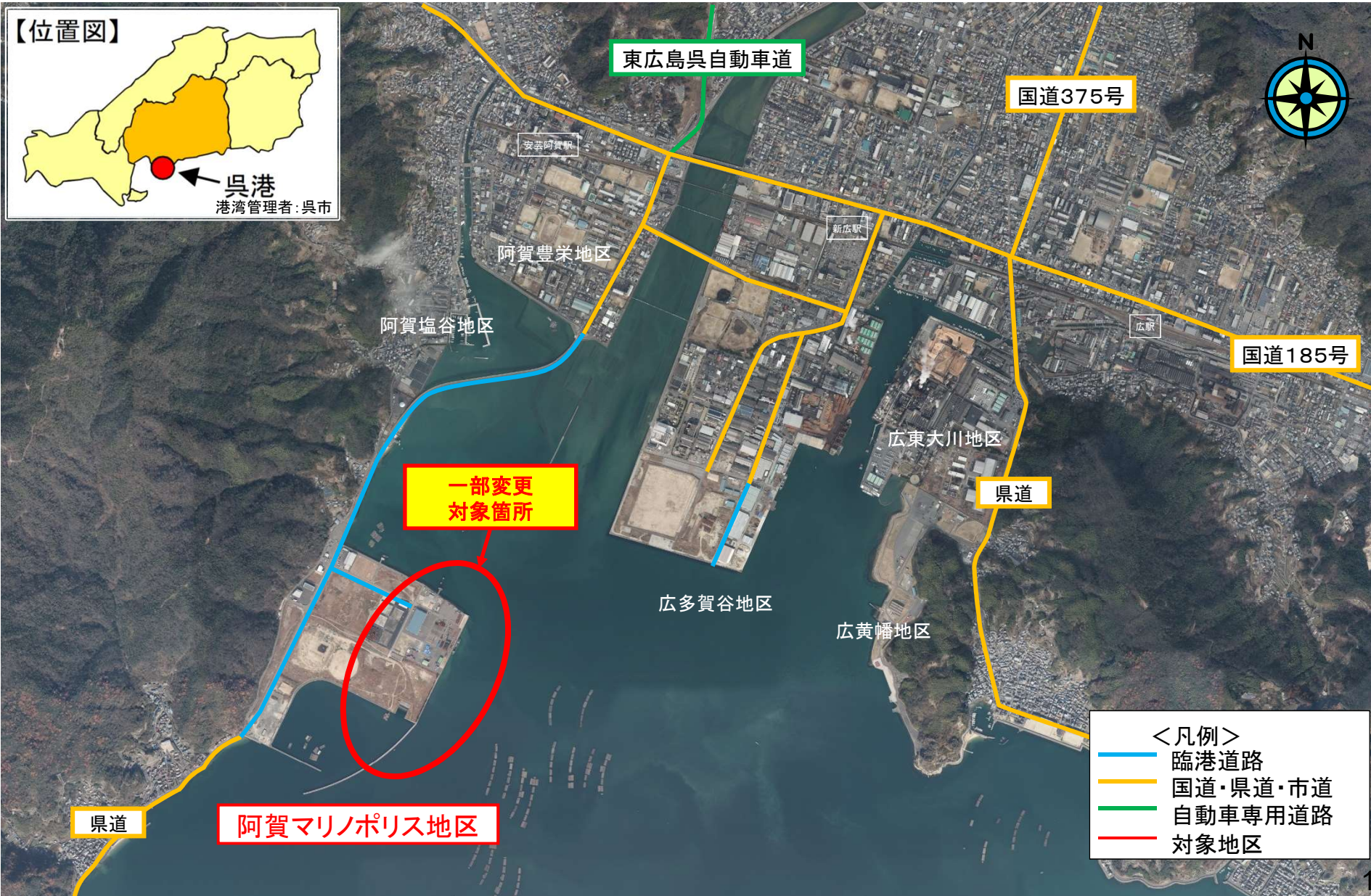


# 吳港(一部変更)

---

# 呉港(広港区)の概要

○港湾管理者は呉市、港湾背後は呉市。昭和26年に重要港湾に指定。





# 呉港港湾計画 一部変更

前回改訂:平成12年11月(目標年次:平成20年代前半)

- 物流の2024年問題を控え、モーダルシフトによる物流の効率化と安定した輸送体系の確保を実現するため、大型RORO船の受入に対応したターミナルの拡張及び再編を図る。
- 災害時の緊急物資輸送拠点としての機能を強化するため、岸壁(-9.0m)を耐震強化岸壁(緊急物資輸送)として計画変更する。

## 【利用状況】



## 【今回計画】



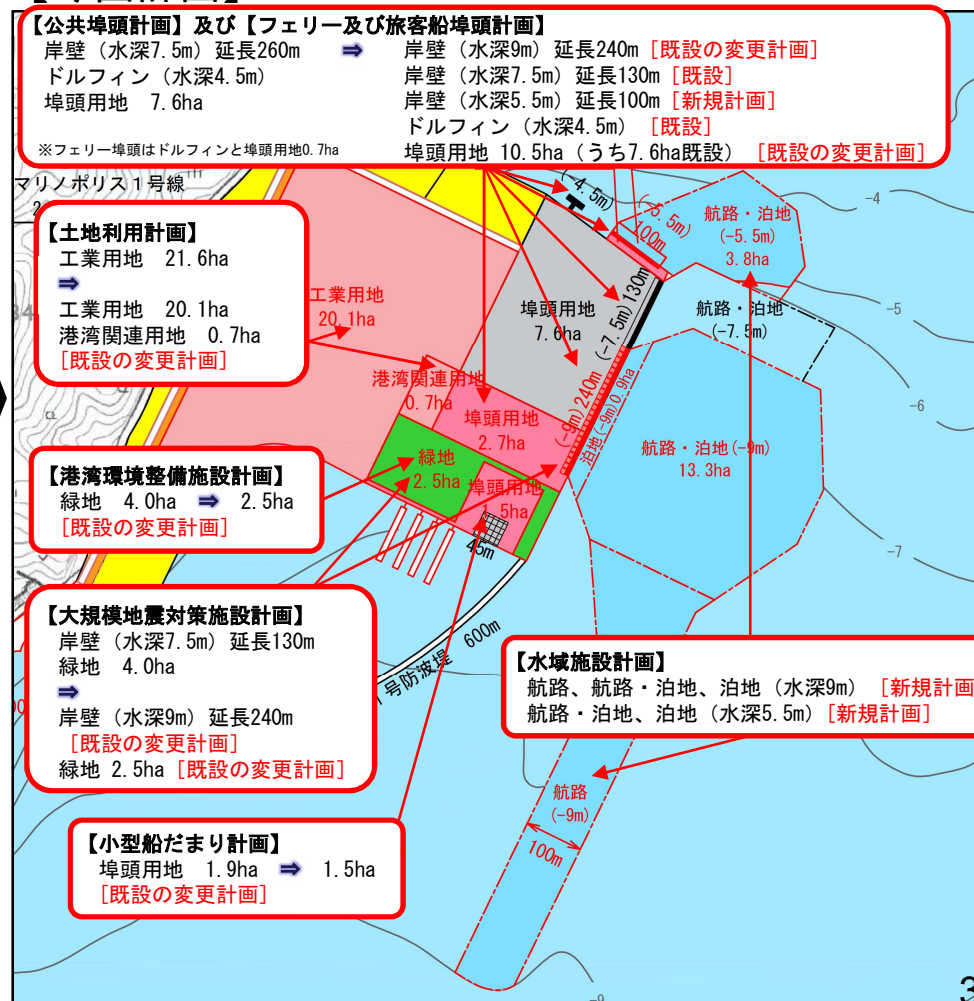
# 計画変更内容

- RORO船の大型化やモーダルシフトの促進、在来貨物取扱に対応するため、公共埠頭計画、水域施設計画を変更する。
- RORO船用埠頭の機能強化を図るため、土地利用計画を変更する。
- 災害時の緊急物資輸送拠点として、大規模地震対策施設計画を変更する。
- ターミナルの拡張及び再編に伴い、良好な港湾の環境を形成するため港湾環境整備施設計画（緑地）の変更及び小型船だまり計画を変更する。

## 【既定計画】



## 【今回計画】



# 基本方針との適合

テーマ	変更概要	基本方針	
		I 港湾の開発、利用及び保全の方向に関する事項	II 港湾の配置、機能及び能力に関する基本的な事項
複合一貫輸送	RORO船の大型化やモーダルシフトの促進、在来貨物取扱に対応するため、公共埠頭計画、水域施設計画を変更する。	1 特に戦略的に取り組む事項 (1) 我が国の産業と国民生活を支える海上輸送網の構築と物流空間の形成 ③ 将来にわたり国内物流を安定的に支える国内複合一貫輸送網の構築	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●国内複合一貫輸送網の機能強化</li> </ul> ④ 我が国及び地域の基幹産業・地場産業を支える物流機能の強化と港湾空間の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶の大型化に対応した岸壁及び十分な広さの荷さばき地の整備</li> </ul>
大規模地震対策施設	大規模地震発生時における緊急物資輸送拠点として、大規模地震対策施設計画を変更する。	1 特に戦略的に取り組む事項 (3) 国民の安全・安心を支える港湾機能・海上輸送機能の確保 ① 災害等から国民の生命・財産を守り、社会経済活動を維持する港湾・輸送体系の構築	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時における緊急物資や、国際海上コンテナをはじめとする幹線貨物の一連の輸送ルート構築及び航路等の啓開体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験したことがない災害にも柔軟に対応でき、様々な支援船舶の着岸や災害時のオペレーションのほか、給水・入浴・洗濯等の支援も考慮した、地域防災計画に基づく、耐震強化岸壁、緊急物資保管場所、道路等の配置、一体的整備及び啓開体制等に関する連携体制の強化</li> </ul>